

# 『地域包括支援センターの仕事紹介』

## ～保健師編～

地域包括支援センターは高齢者のみなさまやご家族、地域のみなさまが住み慣れたまちで安心して暮らしていただけるように、介護・福祉・保健・医療などのさまざまな面から生活を支えていく仕事をしております。

専門職の一つである保健師は高齢者の介護予防(介護が必要になる状態を予防すること)に関する業務を主に行っています。



いわき市が実施している、運動や口腔の機能を向上するための介護予防教室にご案内したり、介護保険の介護予防サービスの利用を支援したりして、高齢者の皆様が元気でいきいきと暮らすことができるようお手伝いをしています。



### 各地域包括センターのお問い合わせ

介護に関する悩みや心配ごと、健康や福祉、生活に関することをお気軽にご相談ください。



#### 平地域包括支援センター

住所:平字梅本21(市役所本庁内)  
TEL:0246-22-1174

#### 勿来・田人地域包括支援センター

住所:錦町大島1(勿来支所内)  
TEL:0246-63-2140

#### 内郷・好間・三和地域包括支援センター

住所:内郷高坂町四方木田191(総合保健福祉センター内)  
TEL:0246-27-8660

#### 小川・川前地域包括支援センター

住所:小川町高萩字下川原15(小川支所内)  
TEL:0246-83-1411

#### 小名浜地域包括支援センター

住所:小名浜花畑町34-2(小名浜支所仮設分庁舎内)  
TEL:0246-53-4760

#### 常磐・遠野地域包括支援センター

住所:常磐湯本町吹谷76(常磐支所内)  
TEL:0246-43-2151

#### 四倉・久之浜大久地域包括支援センター

住所:四倉町字西四丁目11-3(四倉支所内)  
TEL:0246-32-2115

新年を迎えおかげさまで今年も「結い」第8号を無事に発行することができました。「冬来たりなば春遠からじ」。厳しい冬がくれば、春はすぐその隣、人生の厳しい冬もいつまでも続くわけではなく、希望に満ちた未来がすぐ後ろに控えている。という意味があるそうなんです。これからも、皆さんとの「つながり」を大切にし、誰もが安心して暮らせる希望に満ちた地域作りをしていきたいと思っております。

### 編集後記

### 会員募集

特定非営利活動法人 地域福祉ネットワークいわきでは会員を募集しております。地域福祉に対するご意見、ご提案等をお寄せ下さい。

種別	対象
正会員	法人の目的に賛同し、運営に参画する個人及び団体
賛助会員	法人の目的に賛同し、協力又は援助する個人及び団体
協力会員	法人の目的に賛同し、各種活動に協力する個人及び団体

■お問い合わせ/ 特定非営利活動法人 地域福祉ネットワークいわき  
〒970-8026 いわき市平字菱川町1番地の3(いわき市社会福祉センター3階)  
TEL0246-68-7612(事務局まで)

# 結い

発行:NPO法人 地域福祉ネットワークいわき  
編集:NPO法人 地域福祉ネットワークいわき広報委員会  
〒970-8026  
福島県いわき市平字菱川町1番地の3(いわき市社会福祉センター3階)  
TEL.0246-68-7612 FAX.0246-21-7618  
E-mail:yui@npo-fukushinetiwaki.com  
URL:http://npo-fukushinetiwaki.com/

## NPO法人地域福祉ネットワークいわき

あなたを包む優しい光になりたい...

「NPO法人地域福祉ネットワークいわき」は、高齢者や障がい者をはじめとした誰もが自らの意志により、どこでどのように暮らすか(暮らしたいか)を決め、実践することのできる地域社会の実現を目指してまいります。私たちの組織は平成19年よりいわき市の地域包括支援センター業務を運営しております。

### 新年のご挨拶



理事長 鎌田 真理子

健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また平素より本会に多大な御高配を賜り、法人および職員を代表し、御礼と御挨拶申し上げます。

本会では広域多核市いわき市の地域コミュニティ状況を把握し、顕在化している問題だけでなく、周囲からは見えにくい潜在化している生活問題や福祉課題を掘り起こし、支援する活動を市内7支所の地域包括支援センターで展開しています。ここ数年全国で課題になっている住所地や住民票を頼りに各種サービスを提供することの限界や、現行の福祉諸制度や行政サービスの狭間に置かれた人々の孤立化など、社会的排除の課題が地方都市でも徐々に深刻化しています。

たとえば地域組織の弱体化や解体してしまった地域社会では、個人や世帯間の交流が乏しくなり、その結果、一人ひとりのつながりも弱く、地域にバラバラになった個人が存在するだけで、孤立化が放置され、生活問題や福祉課題が深刻になり手遅れという可能性も生じます。

このような深刻化する地域の生活問題や福祉課題に対応するには、地域へ出かけて行き自宅訪問の手法を展開している地域包括支援センターの役割が年々大きくなっています。しかし、地域の方達の生活支援には地域包括支援センターの職員だけでは限界もあり、地域住民のみなさまのご協力が大変重要です。

今後も地域包括支援センターの存在や役割を多くの皆様にご理解とご協力をいただき、地域のみなさまとともにいわき市を住みよい安全で安心な暮らしの場づくりを目指し、高齢者・障がい者の総合的な福祉相談・介護予防・虐待防止活動・地域ネットワークづくりなどに取り組み、より活発な活動を展開してまいります。

# 2013年も地域の皆様と共に歩んでいきます

## 内郷 好間 三和

平成21年7月に内郷宮町一区に高齢者見守隊、平成24年3月に下好間、11月に上好間(田代・沼平地区)にて、えがおさかせ隊が結成されました。

活動内容は行政区や隣組単位を中心に防犯防災福祉マップ作成やチラシを配布しながら、安否確認を行っています。

当センターでは住み慣れた地域で安心して暮らせる取り組みを地域の皆さんと一緒に活動しています。



## 小川 川前

今年度は、小川・江田地区で見守り隊を結成しました。他の地域でも、住民懇談会などを開催し、地域の見守りや高齢者の生活を支える仕組みについて、住民の方々と話し合っています。また、シルバーリハビリ体操などを取り入れ、健康づくりや交流の場をつくるお手伝いをしています。

今後も地域のみなさまが安心して暮らしていくことができるよう、各関係機関とのネットワークづくりに取り組んでまいります。



## 四倉 久之浜大久

四倉地域では、地区の区長さんや民生委員さん、関係者の皆さんと地域の課題について話し合いました。その中で、津波被害にあって活動が止まっていた、『四倉町新町高齢者見守り隊』が、和具、八日十日地域も新たに加わって、11月から活動再開となりました。

また、その新町地区に、装い新たに道の駅よつくら港も再開し、徐々に震災前の賑やかさが戻ってきています。今年も職員一同、高齢者の皆様が安心して暮らせる地域づくりへ向け、頑張ってまいりますのでよろしくお願いいたします。



## 常磐 遠野

今年度は、以前「地域福祉座談会」を開催した下船尾地区・西郷地区で、会の振返りを集会所や地域の方の自宅をお借りして実施しました。皆様の声をうかがい、地域の課題や問題を皆様と共に取組み、その現状を確認しました。

今後も地域に出向き、地域の皆様と顔の分かる、常磐・遠野地域包括支援センターでありたいと思います。



## 平

「メビウスの会」は、生き生きとした生活の維持と身体機能の向上を目的に活動を行っている自主グループです。シルバーリハビリ体操を主に、いろいろな運動に取り組んでいます。活動は3コースに分かれ、各曜日とも約20名の参加者がいます。会に関心のある方、参加希望の方はご連絡ください。

※「メビウスの会」開催日時

- 月曜コース：13:30～15:30(月3回) 平老人福祉センター
- 火曜コース：10:00～12:00(月3回) 平老人福祉センター
- 木曜コース：10:00～12:00(毎週) いわき市文化センター

※平成21年8月より「ひまわり貯筋の会」として活動していましたが、平成24年より「メビウスの会」に改名しました。



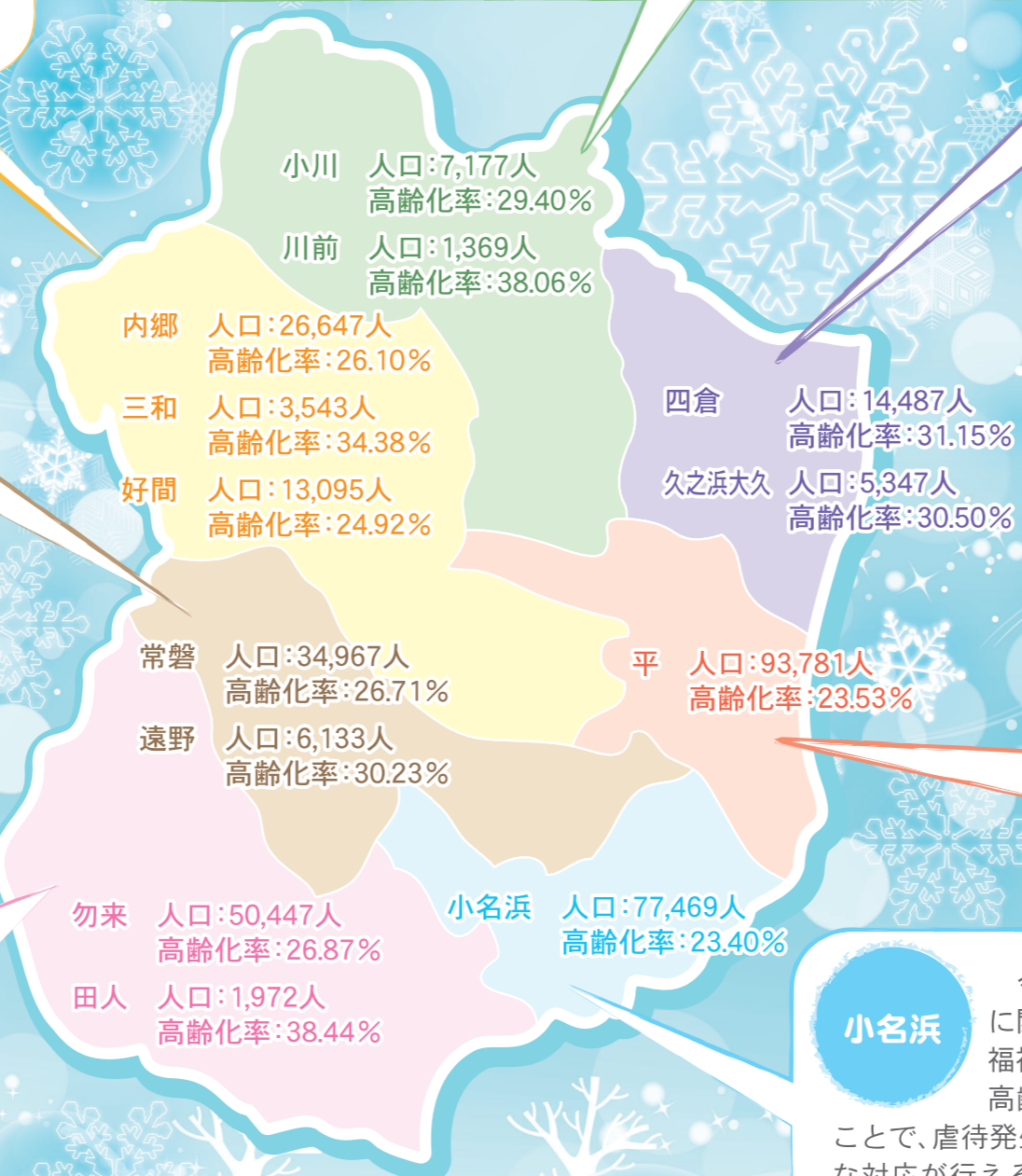
## 勿来 田人

「フラワーズ」。花の名前の自主サークルが3ヶ所で元気に活動中。活動内容は、介護予防の運動や手芸などです。軽体操や手芸の講師としてボランティアさんが活躍しています。

サークルに参加することで「地域の仲間が増えて、日々の生活に楽しみが増すわ!」という声を頂いています。参加のご希望があれば、随時ご連絡下さい。お待ちしております。

(問い合わせ先は裏面を参照下さい)

- ひまわり会：第二・第四木曜日 10:30～11:30 勿来老人福祉センター
- さくら会：第二・第四金曜日 10:00～11:30 金山集会所
- コスモス会：第四木曜日 10:00～11:30 道山集会所



人口・高齢化率データ (H24.11.1現在)  
いわき市全体 人口:336,424人/高齢化率:25.54%

## 小名浜

今年度は、関係機関とのネットワークの強化を目標に「高齢者虐待に関するネットワークづくり研修会」を開催しています。これまで医療・福祉の関係者、延べ95名に参加いただきました。高齢者虐待について、現状や課題の共有を図ることで、虐待発生時や虐待疑い時に連携し、早期発見や迅速な対応が行える体制の構築を目指しています。さらに地域の情報や相談がセンターに集まる仕組みをつくるため、今後は地域の方々を対象に勉強会等の開催をまいります。

